

エコタウンえどがわ推進本部 第4回本部会議 要旨

日時：平成22年1月29日（金）

午前10時30分 開会

場所：江戸川区役所（西棟4階）

第1委員会室

1 本部長挨拶（区長）

2 地球温暖化をめぐる動き

世界及び日本の動向、国・都・本区の二酸化炭素排出比率について（事務局）

3 もったいない運動の取り組みの表彰

受賞者紹介（佐々木本部員）

4 意見交換

テーマ：「地域で広げるもったいない運動えどがわ」

○ 受賞者の取り組み紹介（要約）

《江戸川区立小学校PTA連合協議会のエコキャップ回収について》（大矢本部員）

昨年2月から始まった運動で、小学校以外にも共育プラザ・企業・個人が増え、現在92団体へ回収に行っている。回収したキャップは1kg25円で買ってもらい分別作業を依頼している区内の障害者施設に10円を支払い、残りの15円をJCV（世界の子どもにワクチンを日本委員会）に寄付している。現在907万個の回収を行い、18,000人分のワクチンを寄付することが出来た。子どもたちも、喜んでもったいないということを念頭に置いてやるようになってきている。

《環境をよくする小松川平井地区協議会もったいない運動推進部会の取組について》

（井出本部員）

「リサイクル推進部会」として環境活動に取り組んできたが、「もったいない運動推進部会」に名称変更し、さらにエコ活動を推進している。地域イベント等で「もったいないマーケット」「ごみ分別ゲーム」「廃油せっけん作り」「エコクイズラリー」などを行い、地域をあげてもったいない運動を広めている。

○ 本部員の発言（要約）

《エコキャップ回収について》

- ・知り合いにキャップ集めをお願いしているが、現在の回収数などを報告することで励みになり、さらに協力してくれると思う。
- ・全額寄付し、ボランティアでやっているのは大変なことで鑑になる。ぜひ続けていってほしい。

- ・子どもたちに命とエコキャップということが浸透してきている。そういう活動を通してもったいない意識が非常に高まってきていることは大きな教育効果である。数も大事だが、そういったことを説明してあげると納得して取り組んでくれる。

《もったいない運動を子どもたちに広めるために》

- ・小学校・中学校では、日々の生活を通して、児童・教職員共に節電・節水・ゴミの減量・リサイクル活動等実践し、もったいない運動を進めている。
- ・給食の残菜をコンポストで肥料にして使っている。
- ・中学生になると、自主的に何かを動かすことが必要。親はその後押しをしていかなければいけない。
- ・すすすくスクールの子どもたちが、段々書き損じの紙をリサイクルの箱に入れるようになってきた。きちんと教えれば、子どもたちは吸収して自分でやるようになる。
- ・「もったいない」という言葉が今の子どもたちには分らない。なにがもったいないのか、どれが捨てていいのか分かっていないのが現実である。使えるものは使うということは社会に貢献することだと、努めて話すようにしている。

《地域でのもったいない運動について》

- ・鹿骨地区では多くの一戸建てで緑のカーテンを実施している。打ち水なども緑道の水を利用して行っている。日々の生活の中にエコ活動が入っていると感じる。
- ・中央協議会の総会で昨年、一昨年とえどがわエコセンターにエコをテーマとした講演をしてもらった。各町会・自治会でも頑張っている。
- ・やらなくちゃいけないという気持ちだけが進んでいるが、なかなか大きな活動の輪を作れないのが現状。町内でもリサイクル活動などを完全に実施していない所もあるので、活動を広げてもらうよう皆さんにお願いしていかないといけないと感じている。

《各業界での取組みについて》

- ・幼稚園のバスは、アイドリングストップを心がけている。
- ・商店街の催しにはエコセンターと協力してごみの分別を含めたコーナーを設けている。商店街はごみの発生減の一つだが、今は不景気でごみの発生量が少ない。ごみ減量が一番易しい時期だとも思うので努力したい。
- ・東京都トラック協会に加盟する8万台弱の内、1万台強がグリーンエコプロジェクトに参加している。3年間で植樹に換算して120万本を達成した。12月14日のCOP15でこの運動の発表をしていただいた。これからは4万台目標で運動に参加していただき、CO2削減に貢献したい。

《日々の生活の中でのもったいない運動について》

- ・「へちま水」の取り方や「どくだみ草の外部薬」などを教えていただき、活用している。家庭でのエコということで、自然食の素晴らしさを皆さんにも知っていただきたいと思っている。
- ・布の切れ端や残った毛糸などを使って、バックや縄などを作っている。

5 今後の取り組み

- 「第4回もったいない運動えどがわ区民大会」「環境フェア2010」について
(事務局)
- 平成22年度に実施する「省エネナビを使った省エネ行動推進事業」について
(事務局)